

美術館・
図書館が
30分圏内!

おしゃれなカフェで
おしゃべりができる!

ふらりと温泉に
入れる!

医療環境が
充実している!

スポーツが
気軽に
楽しめる!

アートを
感じる道で
散歩ができる!

自然を
感じるサイクリング
コースがある!

キス釣りの
聖地と呼ばれる
ところで釣りが
できる!

ふらっと東京にいける
外国にもいける!

地域のお祭り
に参加できる!

地域の郷土
芸能を見たり、
参加できる!

新鮮な
地元食材を食べる
ことができる!

友達と飲み
明かせる!

まちを一望
できる
場所がある!

子どもたちが
自然体験できる!

時間が止まった
ような田園風景を
味わえる!

保育園が
充実、安心して
子どもを預け
られる!

オープン
マインドな
気質がある!

美しい
星空がある!

海も山も
その日に行ける!

できる!
鳥取県 **米子市**
You can do anything in Yonago city!

安心・安全で
おいしい水が
いつでも飲める!

山、夕日、海
毎日感動
できる!

自然を守る活動が
いつでもできる!

30分以内で
おおむね通勤可能!

郷土料理が
食べられる!

プロスポーツを
身近に観戦できる!

生涯
学習に誰でも
参加できる!

いろいろな
文化施設でアートな
体験をすることが
できる!

安心して
介護を受ける
ことができる!

休日でも
診てくれる
診療所がある!

桜の名所が
あり、花見が
できる!

地元の魚や
野菜を食べられる
飲食店がある!

子どもたちが
科学体験できる!

ぶらぶらと
歩いて楽しい
場所がある!

まちなかに
日本遺産がある!

海や山で
おしゃれな
アクティビティ!

城下町の
歴史を感じる
ことができる!

豊富な
飲食店から好きな
ものが選べる!

いろんな
スポーツイベントを
観戦でき、参加も
できる!

公園で家族と
駆け回れる!

Fun!

Good!

Beautiful!

Happy!

米子市なら
いろいろできる!

You can do anything in Yonago city!

Nice!

Lucky!

大山

米子城跡

中海

Impressive!



Delicious!

Sweet!

Great!

Cool!

淀江

米子市ブランドブック『できる! 米子市』は、このまちの「できる!」を集めた冊子です。「何もない」なんて言われがちな米子市ですが、何を隠そう、こんなにたくさんの「できる!」があふれています。このブランドブックを読んで、市民の皆さんにそのことを知ってもらい、もっと米子を好きになってもらいたいと願っています。でも、実は今のところ、たくさんある米子の「できる!」の、まだほんの一部しか掲載できていません。この冊子は、「できる!」をどんどん増やせるようになっています。今後、市内外の皆さんから米子の魅力を教えていただき、一緒に新しいページをどんどん追加していきたいと思っています。皆さんのにとっておきの米子の「できる!」を、お待ちしております!

米子駅

皆生温泉

Fresh!

Exciting!

Amazing!



自然 *Nature*

1 安心・安全でおいしい水が いつでも飲める

「全国おいしい水32選」にも選ばれています。大山や日野川流域の豊かな自然のおかげと言われて

います。



2 海が見たいと思ったら、 その日に見に行ける 山も行ける

海から山まで、車で30分で移動ができます。「今日、夕日がきれいだな」と思ったら、急げば海に沈む夕日を見ることができる…かも。



3 山、夕日、海 美しい景色をみて感動できる

米子市は自然が豊富。通勤途中でも、何気なく外に目を向ければ、ハッとするほど美しい景色に感動することができます。

4 30分以内で おおむね通勤できる

約90%が市内に通勤。市外へ通勤する場合でも、大山町や境港市などの近隣が多く、市民のほとんどが通勤時間30分圏内です。



暮らし *Living*

5 ふらっと東京にいける 日帰りでも外国にもいける

東京まで、飛行機で約90分、鉄道で約6時間。米子鬼太郎空港から国際便も飛んでいて、韓国までは約90分です！



6 スポーツが気軽に 楽しめる

市内どこでも、2km圏内(徒歩30分圏内)に、ほぼ体育館があります。天気を気にせず、気軽にスポーツができます。

エンタメ *Entertainment*



7 自然を感じながら駆け抜けるサイクリングコースがある

全長約15.8kmの、海や山を満喫できるルート。自転車じゃなくても、散歩やジョギングにも最適です。



8 ふらりと温泉に入れる

「♪海に湯が湧く米子の皆生」皆生小唄の一節です。「ホカホカ、ツルツルの健康と美肌をつくる」お湯に、気軽に入れる環境です。



9 地元の魚や野菜を食べられる飲食店がある

大山山麓の恵みに育まれた地元食材。まちへ行けば、それをおいしく頂ける飲食店があります。

文化・歴史 *Culture History*

10 アートを感じる道で散歩ができる

国内外からアーティストが集い、多くの彫刻を制作した彫刻ロード。彫刻ロードと城下町をたどる道は「美しい日本の歩きたくなるみち500選」にも選ばれています。



11 城下町の歴史を感じることができる

戦火などにさらされず、往時の街並みがよく残っています。また、「しろやま」(米子城跡)も貴重。当時約3000存在した近世城郭は、全国で170しか残っていません！



12 熱気あふれる地域のお祭りに参加できる

地域がアツク燃えるのがお祭り。米子最大規模の「米子がいな祭」をはじめ、地区のお祭りなど、多くのお祭りに参加できます。



13

公園で家族と 駆け回れる

広々とした総合公園はもちろん、ご近所でちょっと子どもと遊べる公園もたくさん。



子育て *Parenting*

14

子どもたちが 自然体験できる

自然を活用した豊富な体験学習を行うことができます。大山でスキー教室も受けられます!



15

子どもたちが科学体験できる

プラネタリウムをみて星や宇宙に思いを馳せたり、電子顕微鏡でミクロの世界を体験したり。多くの学びを得る場があります。

医療・福祉

Medical and welfare

16

休日に体調が悪くなくても 診てくれる診療所がある

夜間や休日等にかかれる救急診療所があるということは、実は当たり前のことではありません。県内でもひとつもないまちだっているのです。



17

充実した医療環境を 享受できる

人口10万人当たり病院・診療所数、医師・看護師数。いずれも全国平均を大きく上回っています。大きな病院だって、4つもあります!



18

安心して介護を 受けることができる

介護施設数も人口10万人当たり平均が全国を上回っており、介護相談の場なども豊富です。



21 海や山でおしゃれな
アクティビティができる



20 新鮮な地元食材を
食べることができる



19 友達と飲み明かせる



24 自然を守ろうとする
人々がいる
そしていつでも
参加できる



23 豊富な飲食店から
好きなものを選べる



22 プロスポーツを
身近に観戦できる



27 ぶらぶらと歩いて
楽しい場所がある



26 郷土料理が
食べられる



25 キス釣りの聖地と
呼ばれるところで
釣りができる



30 いろんなスポーツ
イベントを観戦でき、
参加もできる



29 オープンマインドな
気質がある



28 美しい星空を眺めて
くつろぐことができる



33 米子発の全国に誇る
文化・技術・産業がある



32 車で30分圏内で
美術館・図書館を
利用できる



31 生涯学習に
誰でも参加できる



36 まちを一望できる
場所がある



35 地域の郷土芸能を
見たり、参加できる



34 時間が止まっているような、
勢田気のある田園風景を
味わえる



38 保育園が充実して
おり、安心して
子どもを預けられる



37 いろいろな文化施設で
アートな体験をする
ことができる



40 まちなかに
日本遺産がある



39 おしゃれなカフェで
おしゃべりができる



43

地域のつながりがあり、
交流する場がある



42

鉄道、飛行機、船、
高速道路…交通を
便利に利用できる



41

桜の名所があり、
花見ができる



46

有事の際に
避難する場所がある



45

東京の比じゃないくらい
安く土地を購入できる



44

自主防災組織の結成が
8割を超えている



47

災害時等、物資や
機材、人材等、
力を貸してくれる
企業・団体がある



48

おしゃれなライトアップに
ワクワクできる



49

美しい夜景を見る
ことができる



50

商店街や百貨店で
買い物ができる

米子市 皆生の

できる!

You can do anything in Yonago city!



#1 LINO LLC.代表
笑顔インフルエンサー*

いちかわ
市川 さゆりさん

米子市・皆生地区を拠点に Yoga / SUP などの体験スクールに託児サービスを加え展開。「遊び」「体験」を通じ、人間力を磨く学習の機会を、子どもから大人まで幅広い層に提供することで、心身ともに健やかな地域づくりに貢献すべく奮闘中。



海、砂浜、太陽に抱かれて最高の癒やしを

I can do it!
in Yonago Kaike

皆生温泉には、 「癒やし」の条件が 揃っています。

皆生温泉を主な拠点にして、様々な「体験」をテーマに、自然とのふれあいや学びをしてもらう活動をしています。

SUP(スタンドアップパドル)をやってみたり、波の音を聞きながら砂浜でヨガをしてみたり、皆生温泉の旅館さんに協力いただいで岩盤浴ヨガというものもやったり。いずれもなかなか皆生でしかできない体験だと、多くの方に喜んでいただいています。



かけがえない自然を満喫

健やかに暮らしていきたいという方には、実はこの米子、皆生っていうのがすごくおすすめです。心身ともに健康になれる条件が揃っています。

「自然が近い」というのが、その秘訣。自然の中に身を置くことは、ストレスの解消に効果的だと心理学の研究でも分かっています。海、砂浜、温泉。人がリラックスできるための素材がたくさんあって、しかもそれらを掛け合わせると、癒しの相乗効果が生まれる。癒しと健康の力が皆生には満ちていると思います。

例えば、朝のスタートというのは、とても大事です。自然に触れることで心も体も整えてから一日を始めると、その日のクオリティがすごく上がります。皆生で朝日を浴びながら朝ヨガをしたり、散歩したりしてから出勤するという方も、男女問わずすごく増えてきていると感じます。とても健康的で、ステキ！



毎年多くの観光客の方が訪れます



子どもにとって最高の学びの場になります

シーズンには観光客の方にもたくさんお越しいただきますが、皆生の自然にとっても感動してくださり、わざわざ遠方から何回もお越しになる方も。地元の人が当たり前のように思っているこの環境は実は当たり前じゃないし、その価値は案外、市外の方のほうがいい存じなのかもしれません。私も、昔は「地元には何もない」と思っていました。そのため都会や海外によく行っていました。しかしか地元の自然がかけがえないものだということに気づきました。「今日、夕陽がキレイかも！」と思ったら、すぐに海岸線まで見に行ける。こんな場所、他にはそうそうありませんよ！



米子市観光センター
鳥取県米子市皆生温泉3-1-1
TEL 0859-35-0175

米子市 城下町の

できる!

You can do anything in Yonago city!



城下町米子

城下町米子



#2 米子観光まちづくり公社
ガイド

おがわ ただし
小川 雅 さん

公社の設立を機に、ガイドを開始。
城下町の生まれて、普段は会社勤
めをしながら、休日等を利用して
お客さんをご案内。城下町や米子
城跡の魅力、米子市内外の多く
の方に伝えている。

I can do it!
in Yonago
Jokamachi

城下400年の 歴史を体感できる



城下町のガイドには、公社が設立された平成30年から参加しています。昔は実家が城下町で商売をしており、地域には思い入れや愛着があったというのがきっかけです。

ガイドをやっていると思うのは、米子は、城下形成から400年の歴史を今でも体感することができるまちだということ。米子の城下町は、大規模な震災や震災にさらされておらず、町割りや小路が奇跡的

に残っています。駅前通りや医大通りなど、昔は存在しなかった新しい道も当然ありますが、まちそのものは、意外なほど大きく変わっていないんです。

灘町、立町、内町……実際に城下を形成していた筋が残っているので、観光客をご案内するときも、実際にその通りを見ながら、歩きながら説明ができます。県外のお客様などは、米子のことを「文化が残っていていいまちだね」とすごく羨ましがってくれるほどです。

城下町を楽しむポイントは、上を向いて歩くこと。

目線を上に向けてみると、看板や看板の跡などが目に入って、当時の商売の様子や人々の暮らしを垣間見れます。それに、屋根も見どころ。屋根を見ると、家の繋がりや構

造がすぐく分かります。

加茂川と、その川を行き交う舟から商品を上げ下ろししていた白壁の建物……たとえば建物自体は既に無くなっているとしても、往時を偲ばせる道や構造、息遣いが、随所に残っています。

そして、なんといっても、「しろやま」の愛称で親しまれる米子城跡。

米子城は、乱世の時代にあった、要塞としての機能が非常に高い城。登り石垣や竪堀で鉄壁の守りを築いており、かつその遺構がここまで残っているお城は、現時点では非常に稀です。

また、天守台からの360度パノラマは絶景で、特に中海に臨む夕焼けは、都会から来た人も絶句されるくらい。他の天守台からではなかなか見られるものではありません。それが、麓から約15分です。見られる米子というのは、本当に自慢だと思います。

一緒に1、2回でも城下町を歩き、しろやまの天守台からの景色を見れば、あなたもすぐに城下町通になれますよ！



往時を想像させる街並みが残る



城下を形成していた道を歩くことができる



天守台からの景色は絶景



米子観光まちづくり公社
鳥取県米子市灘町1-19
TEL 0859-21-3007

米子市 中海の

できる!

You can do anything in Yonago city!



#3 米子水鳥公園
専任指導員

みはら なみ
三原 菜美さん

山口出身で、生きものが大好き。
生きものに関わる仕事をするため、米子に1ターンし、米子水鳥公園にて勤務を始める。公園では、日々、野に触れ生きものに触れながら、様々な体験の提供や研究を行っている。



水鳥の観察をしに、たくさんの方が来られます

I can do it!
in Yonago
Nakaumi

生きものの、自然と 触れ合える場所



重要な水鳥の生息地です



美しい自然の情景を見せます



子どもたちが自然と触れ合う場

山口の自然豊かな場所で育ったからか、小さいころから生きものが大好きでした。大学時代も生きものにかかわる研究をしており、米子に来るまでは別の地域で学芸員になるため修業をしていました。米子水鳥公園は、野鳥好きな人にとって全国的に有名な存在。雑誌でも何度も取り上げられているくらいです。市街地と近接しているながら、ここまでたくさんの種類の野鳥や昆虫が集まる場所は貴重です。また生きものに詳しいスタッフが常駐しており、説明を気軽に聞くこと

子どもたちと年間を通じたグループを結成し、野鳥観察や虫取りをするなど自然に触れ合う「米子市子どもエコクラブ」という企画があります。実際に昆虫を触ったり、魚を釣ったりするといったリアルな体験は、豊かな自然があるからこそできるものです。中でも大山での昆虫採集や、中海のマハゼ釣りは、当地ならではのイベントです。学校の授業などで、毎年多くの子どもたちが公園を訪れてくれます。子ども頃からは生きものに触れることは、知識だけでな

ができるなど、公園としてきちんと生きものを観察する環境が整っています。しかも、この公園は1995年に市民運動でつくられたもの。生きもののためにこれだけの環境を残せるなんて、米子の人には、本当に行動力があって、自然を大事にされているんだなと思います。

く、自由な好奇心や他者への思いやりを育みます。そんな米子の子どもたちが成長すると、命や自然の大切さを知った大人になつてくれます。自分が幼いとき、こんな施設が近くにあったらなあ、と思うくらいです(笑)。

虫を触るのが嫌い!という子どもも、ケースに入れて近くで見ると、意外に興味を持ってくれることがあります。模様だったり、ユニークな動きだったり、触れなくても楽しむ方法を少しずつ紹介して、新しい世界を見せることがすごく大事です。大人だって、毎週のように来て下さる常連さんがおられます。カメラをもっていたり、「推し」の野鳥を観察したり……。なにか気になる自然や生きものがおありの際は、ぜひ当園にお越しください。皆さんの「知りたい!」をお手伝いします。



米子水鳥公園
鳥取県米子市彦名町新田665
TEL 0859-24-6139

水鳥公園の
最新情報は
コチラ



米子市 淀江の

できる!

You can do anything in Yonago city!



#4 名水の郷を歩く会
会長

いな た かつ ひろ
稲田 勝浩 さん

淀江出身、淀江在住。淀江エリアを愛し、自営業をしながら、「名水の郷を歩く会」を発足し会長を務める。淀江の魅力体験者を増やすべく、定期的なウォーキングイベント等を開催している。



郷土の伝統、「淀江さんご節」と「淀江傘」のコラボレーション

I can do it!
in Yonago
Yodoe

名水と自然、歴史の郷



淀江の魅力は、なんといっても水！



日本の原風景が残っています



サイノカミさんが子どもたちを見守る景色
懐かしさを感じるまちです

我々は平成30年の春から発足した団体で、毎月初めに、合同ウォークをしています。はじめは10人くらいで始めたんですが、少しずつSNSなどで活動を知った方々が参加してくれるようになりました。淀江にはいいところがたくさんあるので、それを味わう機会として参加される方もおられます。

海側のコースや、田んぼの中を歩くコースなど、だいたい5kmくらいで、淀江のまちなかはざっと1周できます。海側の見どころは、海岸線。防波堤がずっと続き、壮観な日本海が望めます。島根半島に向けて、日本海側の弓なりになった内陸のかたちもすごく見えます。淀江平野や、美しい日本のむら景観百選にも選ばれたことがある高井谷など景勝地がたくさん。今どきなかなか味わえない一面の田んぼの風景を見ることが出来ます。そして、歩いて楽しい秘訣は、なんといっても名水。名水が湧くスポットが地域に3か所もあり、夏でもキンキンに冷たい水が流れているので、汗をかいてもすぐに冷やしてくれるし、とても美味しいですね。

山頂からの夜景は米子市街を一望できるので、カップルにもお勧めです(笑)。それに、淀江はサイクリングも盛ん。商工会の青年部が中心になって、昔から「サイクルカーニバル」という大会を開いています。車通りも決して多い地域ではないので、初心者の方でも安心して、自然に囲まれた道を走ることが出来ます。歩くによし、走るによし、サイクリングによし……実は漁港もあって、釣りもできる！色んなアクティビティを、コンパクトに味わえる絶好の場所です。今ではすっかり珍しくなった「立ちキュー(立ち飲み屋)」も残っていて、みんなが集うコミュニティになっています。気軽に來てくれたら、大歓迎してもらえますよ！



名水の郷を歩く会
(事務局:米子市淀江振興課)
鳥取県米子市淀江町西原1129-1
TEL:0859-56-3164

活動状況は
コチラ！



医師数



10万人あたり
504.31人[☆]

男女



男性 ※ 女性 ※
70,346人 77,396人

総人口



147,742人[※]

数字でみる
米子の暮らし

*A database of
Yonago life style*

結婚



1日あたり
2.2組[★]

世帯数



67,109世帯[※]

※…2020年2月時点 ★…2019年3月時点 ☆…2017年時点

人口密度



1平方キロメートルあたり
1,117.7人[★]

出生



1日あたり
3.7人[★]

小児科系
診療所数



10万人あたり
32.5施設[☆]

一般診療所



10万人あたり
99.79施設[☆]

救急車出場



1日あたり
18.4件[★]

転入



1日あたり
13.7組[★]

ごみ排出量



1世帯1年あたり
0.78トン[★]

市の予算



1人あたり
446,094円[★]

病院



10万人あたり
8.71施設[☆]

転出



1日あたり
14.1組[★]

都市公園



1人あたり
10.9平方メートル[★]



春

Spring

夏

Summer

秋

Autumn

冬

Winter

米子桜まつり

【3月下旬～4月上旬】
@ 湊山公園

500本以上のソメイヨシノが咲き誇る米子屈指の桜の名所です。

米子桜まつり

中海オープンウォータースイム

【6月下旬】
@ 米子市錦海ポートコース

米子がいな祭

【7月下旬～8月上旬】
@ 米子市街地

米子の「のぼせモン」が夏を盛り上げます。2日目の花火は感動ものですよ！

米子がいな祭(花火)

加茂川まつり

【8月23日】
@ 加茂川周辺

米子盆踊り大会

【8月7日】
@ 米子市公会堂広場

米子の夏の風物詩です。県の無形民俗文化財に指定されています。

米子がいな祭(がいな万灯)

淀江町盆踊り花火大会

【8月15日】
@ 淀江海岸駐車場ほか

流灯会(灯籠流し)

【8月16日】
@ 湊山公園(中海沿岸)

中海に灯籠を流し、先祖の魂を送り出します。

米子がいな祭(がいな太鼓)

米子映画事変

【11月 ※例年は10月上旬】
@ 中心市街地

映画、アニメ、マンガなどポップカルチャーの祭典です。

農と食のフェスタ

【10月中旬】
@ 米子駅周辺

鳥取県最大の食のお祭り。大人から子どもまで楽しめます。

米子盆踊り大会

新年あけまして米子城

【1月1日】
@ 米子城跡守台

4月
April

5月
May

6月
June

7月
July

8月
August

9月
September

10月
October

1月
January

米子つつじまつり

【4月下旬】
@ 米川会場：ホープタウン特設会場
@ 五千石会場：福市遺跡公園特設会場
米子市の花、ツツジが米川沿い約4kmにわたって咲き乱れます！

皆生・大山 SEA TO SUMMIT

【5月中旬～下旬】
@ 皆生・大山
カヤック、自転車、登山を通じて鳥取県西部の自然を感じるイベントです。

日吉神社神幸神事

【5月3日】
@ 日吉神社(淀江地内)
米子市で370年以上つづく無形民俗文化財神幸神事です。

米子市民レガッタ

【7月上旬】
@ 米子市錦海ポートコース

海開き

【7月中旬～8月下旬】
@ 皆生温泉海水浴場

全日本トライアスロン皆生大会

【7月中旬】
@ 発/皆生海岸
着/どらドラパーク陸上競技場
国内で初めてトライアスロンが行われた発祥の地での大会です。

上淀八朔行事

【9月上旬】
@ 天神垣神社
旧暦の8月1日に、豊作や無病息災を祈願して行う伝統行事です。

サイクルカーニバル inYODOE

【9月上旬】
@ 発/伯耆古代の丘公園
雄大な景色を楽しみながら、史跡と名水の里を駆け抜ける大会です。

むきばんだ祭り

【9月下旬】
@ むきばんだ史跡公園
弥生のムラ最大イベントです。

全日本チャレンジドアクアスロン皆生大会

【9月上旬～中旬】
@ 米子市皆生市民プール・皆生プレイパーク周辺
皆生で新たに生まれた、障がいのバリアを越えた複合競技大会です。



日吉神社神幸神事



皆生・大山 SEA TO SUMMIT



米子市民レガッタ



皆生温泉海水浴場



全日本トライアスロン皆生大会



東京と米子の
2拠点での働き方

三宅さんの勤務形態
月曜日(東京)
→火～金曜日(米子)
週末に東京へ移動

主な業務内容
・営業
・視察の受入れ業務
など

ローカルエナジー株式会社

みやけ ひろし
三宅 寛さん
(43歳)



週末は
家族の元へ
充実の2拠点生活

三宅さんは、1週間のうち4日は米子、1日は東京で働くという、2拠点営業マンです。岡山県出身で、今の会社の経営理念に惚れこみ、入社のため単身米子へ。週末は家族の待つ東京に戻り、お子さんに会うのが楽しみとのこと。

「空港もJRもあり、移動は全く苦にならないです」と三宅さん。会社からのサポートもあり、仕事への熱いモチベーションと家族の存在を力に2拠点生活を過ごされています。

東京にお住まいの家族も、いずれは米子に引越して来られるとのこと。「今はオンラインが充実しているし、地方の方が子育てしやすい。米子に慣れるよう、何度か連れてきて米子の魅力を伝えていきたいです」と家族と一緒に米子で暮らすことを心待ちにされています。

皆生にあるご自宅には、なんと温泉が付いているそう。米子ならではの環境も楽しみながら、新たな夢を追う挑戦の日々を過ごしています。

Good relationships with local people

— 地域と つながる ワークスタイル —

三浦さんは、大変珍しい、平日、日中のみのタクシードライバー。子育てに集中するため、あえて通常の夜勤も含めたローテーションから外れているのだそう。

「今の会社には、入社2年目ですが、「子育てに重きを置きたい」という相談に気軽に乗ってもらい、今のシフトにしてもらえました。もう少し子どもが大きくなれば、また通常のシフトに戻り、しっかり仕事をこなしたいと思っています」

一番の幸せは、仕事から帰った三浦さんを、3人のお子さんが出迎えてくれる瞬間だと言います。「これは、今の定時シフトでなければ味わえない幸せ。おかげで家庭円満です」とのこと。

以前は事務職でお勤めだったそうですが、元から運転もお好きだそうで、毎日仕事も家庭も充実しており、幸せいっぱいのライフスタイルです。

仕事の後に
待っているのは
幸せです



子育て中でも安心の働き方

三浦さんの勤務形態
8:00～17:00(フルタイム・休憩2時間)
平日勤務

主な業務内容
・ドライバー業務
・配車のオペレーション業務
など

米子第一交通株式会社

みやうら たかひろ
三浦 貴裕さん
(35歳)





障がいと共生し、
夢を楽しむ働き方

森さんの勤務形態（一例）
7:00～16:00（フルタイム・平日勤務）
7:00～9:00 頃 トレーニング
9:00～14:00 頃 事務仕事
14:00～16:00 トレーニング

主な業務内容（事務仕事）
・デイケアサービスの会計事務
・患者さんの献立表の作成
など



医療法人養和会
養和病院

もり たくや
森 卓也さん
(45歳)

職場の
チームワーク、
溢れる感謝

森さんは、普段は養和病院で事務仕事をしながら、パラ陸上選手として活躍されています。

先天性の病気により、闘病の末30代で車いす生活に入った森さん。養和病院でお勤めを始めたのは、およそ4年前のことでした。

「職場には、障がいのこと、競技のことなど、多くの理解をもらっている」という森さん。同僚からの日頃のサポートへ、感謝を口にします。

パラ陸上選手として大変著名な成績をお持ちの森さん。普段は会計などの事務をされていますが、試合や合宿のために米子を離れることも多いそう。その場合は、周囲の助けを得つつも、リモートワークで仕事をされることがあるとのこと。その場合にも、「遠方でも職場とのつながりを感じて嬉しい。競技でも、事務仕事でも皆にお返しをしたい」と笑顔を見せます。



We work in Yonago!

米子で働く!

自分にあった
働き方で
地域とつながる

高島さんは、「ワークシェア」を利用して、御年67歳（取材当時）にして現役のフルタイム勤務を勤めておられます。

「ワークシェア」とは、仕事の内容や時間を切り分け、年齢や身体の調子、ライフスタイルに合わせた勤務をする働き方で、米子市内でも採用する企業が増えています。

「若い頃に腰を痛めて。年齢もあり、重たい物が運べないのですが、自分にできる仕事だけを切り出して働かせてもらっているので、とても働きやすいです」と高島さん。

現役時代は製薬会社の営業をされており、ガソリンスタンドでの仕事は当然初めてでしたが、今ではすっかり慣れて、ハツラツとお仕事をされています。

「出身が米子でないため、米子には親類や知り合いも多くありません。地域とつながったり、あるいは社会に貢献しているというやりがい求めて仕事をしています」という高島さんの顔は、明るい笑顔にあふれています。

ワークシェアによる
自分にあった働き方

高島さんの勤務形態
9:00～18:00（フルタイム）
22日 / 月程度出勤

主な業務内容
・セルフサービスの
給油所のオペレーション
・待合所やトイレ等の清掃
など



株式会社岡田商店
ENEOS 県境 SS

たかしま まさひろ
高島 正洋さん
(67歳)



都会や海外と、地元鳥取をつなぎたい。



米子を出て10年

米子を出てから10年以上経ちますが、自分がやっている様々な取り組みを生かして、地元を盛り上げることができないかと考えており、必ず2、3ヶ月に一度は帰るようになっています。

帰る度に、米子の変化に気づきます。オシャレなお店が増えるなど嬉しさを感じることもある一方で、子どもの頃よく行っていたお店が無くなったりなど、寂しさを感じることもあります。

私は、現在、海外や首都圏でいくつかの仕事をしています。

海外では、フィリピンのセブ島にラーメン屋やバーを3店舗経営していますので、月に1回、1週間程度フィリピンに行き、仕事をします。

本拠地は関東で、人材コンサルティングやTVの仕事に関わらせていただくなど、色々なことにチャレンジしています。

東京でつながる地元の絆

TAF(Tottori Amazing Friends)のはじまりは、以前東京の仕事でお付き合いのあった方が、偶然鳥取県出身だったことがきっかけです。

何度か、その方と一緒に東京在住の鳥取出身者を集めて食事をしていたら、計10人集まるようになりました。そうすると、「今度はその10人が10人ずつ声をかければ、100人集まるのではないか」「人口最少の県だけど、東京で100人の鳥取人たちが集まればなにか大きな力が生まれるんじゃないか」という発想に至ったのが平成28年のことです。

以降、回を重ねるごとに人数が増えていき、今ではほぼ毎回、100人近くの地元関係者が集まってくれます。私たちの活動がメディアの目に留まり、自治体とコラボして関東でイベントをするようにもなりました。

TAFを開催すると、みんなで地元の話ばかりします。「何校出身？」から、「●●先生、お元気なんだ！」となり、「学校の近くの●●屋、まだあるんだ！」となります(笑)。

TAFには、鳥取出身者だけでなく、転校や転勤等で鳥取に繋がりをもっている人も参加してくれています。「ふるさと」が「第2のふるさと」かの違いはあれど、みんなが同じ「ふるさと鳥取」の話で盛り上がります。

TAF (Tottori Amazing Friends) 代表

おおつか ふみたか
大塚 史隆さん

米子市出身。米子西高等学校を卒業後東京の大学に進学し、以降、関東圏や海外をフィールドとして、テレビ業界や海外インターン事業、飲食店経営など、マルチに活躍。

関東圏で活躍する20～30代の鳥取関係者が集う「TAF」の主催者でもあり、東京での地元出身者をつなぎ、都会からふるさとを盛り上げようと活動している。





東京に行った若者たちが思うこと

TAFのメンバーでも、実は、10人のうち7人は地元に戻りたいと口にします。理由は様々ですが、「子どもを地元の自然の中で育てたい」と考えることが多いようです。仕事や家庭のことなどがあり、なかなか簡単には帰れないんですが、地元への思いはすごく持っています。離れて地元の良さに気づいた分、離れていてもふるさとを応援しようという気持ちが強くなるんだと思います。

歌手やプロスポーツ選手、芸術家、企業家をめざす……といったように、なにか飛び抜けたことをしたいと思ったときは東京のほうが有利だと思います。一流のコンテンツや人に触れる機会の多さは、東京と鳥取では差が出てきます。それは、人口だったり、文化施設だったり、企業の数などから明らかです。あるいは、若者がエンターテインメントを楽しむ機会なども、大きく違うかもしれません。

ただ、地元と比べて東京でしかできないことが他にどれだけあるかと言うと、実はそんなに多くはないと思います。逆に、東京と比べて地元でしかできないことというものも、たくさんあります。

東京都心でフットサルやバーベキューをしようと思ったら、多くはビルの屋上でやることになるでしょう。芝生や街路樹はたくさんあっても、自然ではないので生態系がなかなか生まれず、森の匂いや鳥虫の鳴き声も聞こえません。一面の緑を見ることもなく、波の音を聞くこともまずありません。純度の高い水や新鮮な魚、野菜を食べるのも容易ではありません。

海外などと比べて地元のよさに気づいて欲しい

日本のパスポートが、実は「世界最強」なのはご存じでしょうか？ 海外に行くには、通常ビザとパスポートが必要ですが、日本のパスポートであればビザなし、パスポートだけで190か国に渡航できます。この数は世界最高のものであり、日本人が世界で一番海外からの信頼度が高いことを表しています。

にもかかわらず、日本人のパスポート所有率は約23%。4人に1人しか持っていない計算です。その中でも鳥取県は所持率が低く、全国で35位。「気軽に色々な国を見ることができる」という環境も、簡単に手に入るものではありません。強力なパスポートがあり、米子鬼太郎空港、鳥取砂丘コナン空港と、国際線がふたつも通っているという日本、鳥取、米子の環境を生かして海外にも目を向けてほしいと思います。

というのも、地元を知るには、異なる地域と比べるのが一番有効だからです。東京と鳥取はだいぶ違うと思われるかもしれませんが、日本は島国であり、全国でも割と共通点が見られます。

これが海外となると、まちや文化の成り立ち、水の飲み方や治安、教育、医療など、日本とは根本から異なる世界にびっくりすると思います。日頃当たり前前に受けている地域からの恩恵と、いかに日本で生まれたことが恵まれた環境であるかは、他と比べないとなかなか気付けるものではありません。ぜひ色々な国に行き、比較することで、地元のよさに気づいていただければと思います。

Yonago Life

Photo Spot

フオトスポット

BEST 8 @ しろやま 編

米子のランドマーク「しろやま（米子城跡）」。
中心市街地のオアシスでもあるこの場所では、
こんなに素敵な景色を見ることができます！

1



しろやまの風物詩、『米子城跡ライトアップ』の際の一枚。黄金に輝く石垣が、荘厳な存在感を示します。

2



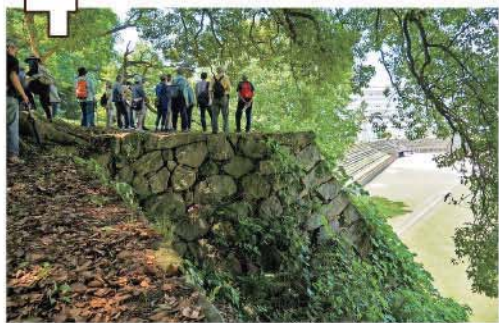
夕焼けを望むしろやま。赤と紫に色づく夕焼けと石垣のコントラストが魅力的な一枚です。

3



米子市中心市街地から見える石垣が、かつての隆盛を偲ばせる一枚。市街地ネオンの対比が見どころです。

4



二の丸から三の丸（湊山球場）を望む一枚。初夏の生命力を感じさせる緑が映えます。

3

4

5



大手から四重櫓台に至る道中の一枚。大迫力の石垣、そして緑に囲まれ、市街地にいることを忘れさせるような情景を見せます。

8

6



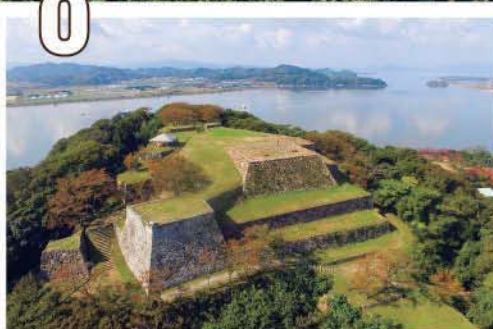
実は桜の見どころスポットでもあるしろやま。満開の桜と石垣、遠くに望む街並みと大山の4点が見通せる、味のある一枚です。

7



山頂から中海を望む一枚。夕焼けが見せる光の道が湖面に映えた、海城らしい魅力が詰まった一枚です。

8



変わり種、ドローンを用いた空撮の一枚。「海に臨む天空の城」のイメージに溢れた絵力のある貴重な情景です。

1

7

6

2

5

